



### 大塚製薬 大阪創薬研究センター（大阪府箕面市）

大塚製薬の創業の歴史と文化を継承し、新たなイノベーションを生み出すための研究施設です。国内外の研究機関・バイオテックとネットワークを築き、低分子化合物、バイオロジクスの創薬研究に取り組んでいます。本施設には世界最高水準のクライオ電顕やオルガノイド自動培養装置など最先端の研究機器を備え、最新の免疫学、DX基盤を取り入れた新しい創薬研究を行っています。



関連情報をウェブサイトに掲載しています

<https://www.otsuka.com/>

財務情報や株式情報など、より詳しい情報をウェブサイトに掲載しております。ぜひご覧ください。

証券コード 4578

大塚ホールディングス株式会社

## 「世界の人々の健康に貢献する、 なくてはならない企業」を目指して



株主の皆様には、平素より格別なるご支援・ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症流行の影響で自粛していた社会活動が再開され、人々の新しい日常が動き出しました。一方で、地政学的リスクは依然として拡大しており、伴う多面的なリスクの発生や、地球環境における課題の山積など世界の状況は深刻さを増しています。同時に、科学技術の進化が加速するなど、私たちの生活は刻々と変化しそのスピードを緩めません。不確実性の高い状況において、当社は、多様性のある事業をベースに普遍的な物事の本質をとらえ「大塚だからできること」「大塚にしかできないこと」に挑み続ける所存です。

本年を最終年度とする第3次中期経営計画では、「独自のトータルヘルスケア企業として世界に躍進～成長の5年間～」として、既存事業の拡大、強化とともに、新たな価値創造に取り組んできました。上半期、医療関連事業では、引き続きグローバル4製品が順調に推移する中、5月に米国において、抗精神病薬「レキサルティ」が、アルツハイマー型認知症に伴うアジテーションの適応追加承認を取得いたしました。ニュートラシューティカルズ関連事業では、長年の取り組みを通じて水分・電解質補給飲料のブランドイメージを構築したことにより

機能性飲料が伸長、また、感染症予防に対する健康意識の向上からサプリメントカテゴリーが成長しました。そのほか、女性の健康に対する幅広い情報提供活動を通じた市場育成も進捗しています。

また、持続可能な自然環境の実現においては、事業活動におけるすべての環境負荷をゼロにするという2050年環境ビジョン「ネットゼロ」に向けて、新しい技術やソリューションの活用を通じたグループ協働によるさまざまな取り組みを進めています。

大塚グループは、トータルヘルスケア企業として人々の健康や幸福を表す「Well-Being」を追求し、これからも“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”の企業理念のもと、「世界の人々の健康に貢献する、なくてはならない企業」を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、大塚グループのさらなる飛躍にご期待いただくとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

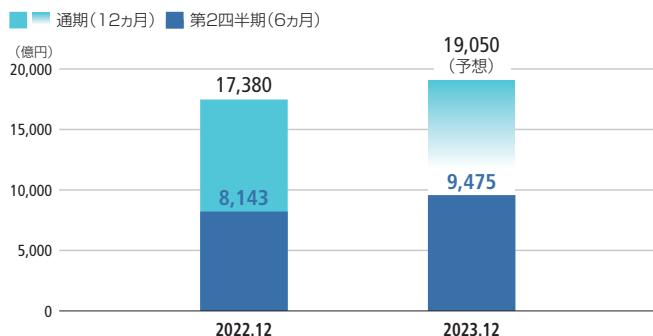
代表取締役社長 兼 CEO

樋口達夫

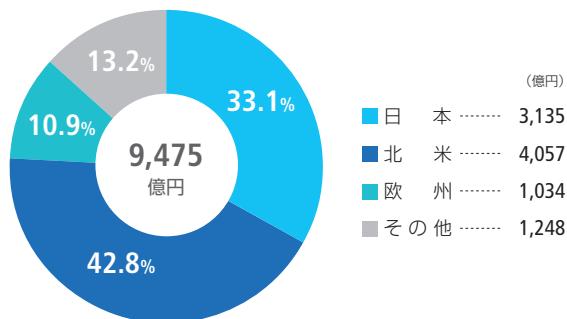
# Financial Highlights 連結財務ハイライト(第2四半期累計)

当社は国際会計基準(IFRS)を適用しています。

売上収益 | **9,475億円** | 16.4%増(前年同期比)

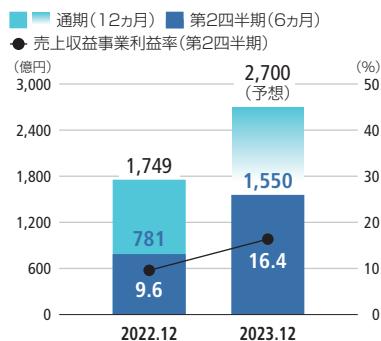


市場別売上収益 外部顧客に対する売上収益



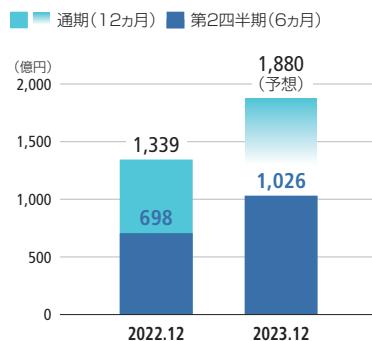
## 事業利益

**1,550億円** | 98.5%増(前年同期比)



## 親会社の所有者に帰属する四半期利益

**1,026億円** | 47.0%増(前年同期比)



## 研究開発費

**1,421億円** | 13.5%増(前年同期比)



※ IAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂)の適用に伴い、2022年12月期について避及適用後の数値を記載しております。

## 配当金

当期における中間配当金は、1株当たり50円とさせていただきます。当期の年間配当金につきましては、中間配当金を含め、1株当たり100円(うち期末配当金50円)を予定しています。

詳しい内容は、ウェブサイトをご覧ください

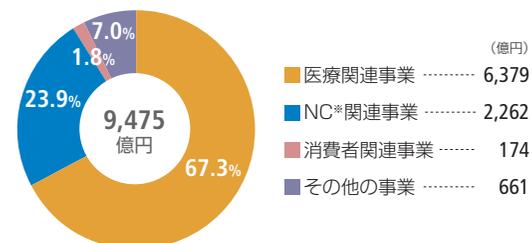
<https://www.otsuka.com/jp/ir/>



# Segment Information セグメント別概況

当第2四半期連結累計期間は、すべての事業セグメントで増収増益となりました。医療関連事業においては、持続性抗精神病薬「エビリファイメンテナ」、抗精神病薬「レキサルティ」、V<sub>2</sub>-受容体拮抗剤「ジンアーク」、抗悪性腫瘍剤「ロンサーフ」のグローバル4製品や、導出品に対するロイヤリティ・マイルストーン収入の伸長が業績を牽引しました。ニュートラシューティカルズ関連事業は、健康意識が高まる中で、「ポカリスエット」及び「ネイチャーメイド」が引き続き伸長しました。消費者関連事業は、持分法投資利益の増加等により大幅に増益となりました。その他の事業も抗生剤中間体の販売増加等により堅調に推移しました。

## 外部顧客に対する売上収益



\* ニュートラシューティカルズ=nutrition(栄養)+pharmaceuticals(医薬品)の造語

## 事業セグメント別売上収益及び事業利益

売上収益は、セグメント間の内部売上収益を含んでいます。

### 医療関連事業



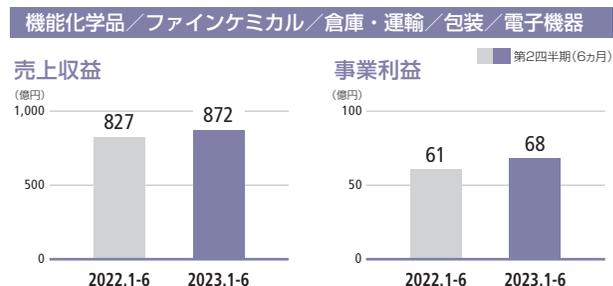
### ニュートラシューティカルズ関連事業



### 消費者関連事業



### その他の事業





## 抗精神病薬「ブレクスピプラゾール」 アルツハイマー型認知症に伴う行動障害について 米国FDAより効能追加承認を取得 | 大塚製薬

アルツハイマー型認知症の患者さんの約半数で、介護者に対する暴言、暴力、錯乱などの行動障害が認められており<sup>\*1,2</sup>、介護者の負担増、患者さん自身や家族、介護者の生活の質の低下などの要因となっています。このたびの承認により、本剤は米国において本適応を有する初めての抗精神病薬となりました。

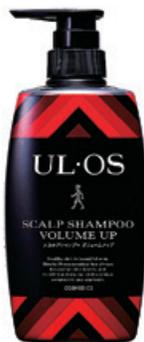
\*1 Halpern R et al. Using electronic health records to estimate the prevalence of agitation in Alzheimer disease/dementia. Int J Geriatr Psychiatry 2019; 34: 420-431

\*2 Fillit H et al. Impact of agitation in long-term care residents with dementia in the United States. Int J Geriatr Psychiatry 2021; 36: 1959-1969

## ウル・オス 「UL・OS スカルプシャンプー ボリュームアップ」新発売 | 大塚製薬

製薬会社ならではのコスメティクス<sup>\*3</sup>発想の男性向けスキンケアブランドから新製品。「ボリューム感」「ハリ・コシ」にアプローチするとともに、毎日のシャンプーから男性の頭皮環境を健やかに整えます。

\*3 Cosmetics(化粧品) : cosmetics(化粧品)+medicine(医薬品)



## 「マイサイズ ホールケア」シリーズ新登場 | 大塚食品



100kcalのレトルト食品を中心とした「マイサイズ」ブランドに新シリーズ「マイサイズ ホールケア」が登場。カロリーだけでなく、塩分・糖質・たんぱく質をコントロールしながら、おいしく満足感のある食事を楽しむことがテーマのブランドで、「ホールケア」は健康から食の楽しみまで「全てへの気配り」を意味しています。

## 合併会社「シンクレスト」を設立し、 中分子医薬品向け受託研究開発製造事業に 本格参入 | 大塚化学

今後成長が見込まれる核酸、ペプチド等の中分子医薬分野において、創薬研究から製造までの創薬バリューチェーンにおけるさまざまな課題や多様なニーズに対しサービスを提供します。

### Sustainability

## 女性のライフステージにおける 健康課題に焦点をあてた取り組み

女性の社会進出や活躍が進む中、大塚グループでは、すべての人たちが生き生きと活躍できる社会の実現を目指し、女性のライフステージにおける健康



課題に焦点をあて取り組んでいます。女性の健康をサポートする製品の創出とともに研究開発で培ったノウハウを生かした啓発活動を社内外で実施しています。さらにグループ内においては、女性がより働きやすい環境を整えられるよう、女性のみならず男性社員も参加できる「女性の健康セミナー」や婦人科産業医による女性の健康相談窓口を設置しました。このような取り組みは、令和4年度「なでしこ銘柄」選定にも繋がりました。今後もグループ全体で一入ひとりに寄り添い、女性特有の健康課題解決のため取り組みを進めていきます。

サステナビリティの具体的な取り組みについては当社ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.otsuka.com/jp/csr/>



## 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで	
基準日	定時株主総会・期末配当金 中間配当金	12月31日 6月30日
定時株主総会	毎年3月	
1単元の株式数	100株	
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場	
公告方法	電子公告 公告掲載アドレス <a href="https://www.otsuka.com/">https://www.otsuka.com/</a> (ただし、事故その他やむを得ない事由によって、 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。)	

## 株式に関するお手続きについて

株式に関する各種お手続きにつきましては、ご所有の株式が記録されている口座(証券会社の口座・特別口座)によって窓口が異なりますのでご注意ください。

お手続き・ご照会の内容	証券会社の口座に記録された株式	特別口座 <sup>※</sup> に記録された株式
単元未満株式の買取・買増請求/届出住所・氏名等の変更/ 配当金の受領方法・振込先の変更	口座を開設されている証券会社に お問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行に お問い合わせください。
郵便物の発送・返戻に関するご照会/未払い配当金に関するご照会/ その他株式事務手続きに関する一般的なご照会	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。	

※ 特別口座に株式をお持ちの株主様が株式の売却等のお取引をされる場合は、あらかじめ一般口座(証券会社の口座)に株式を振り替える必要があります。  
お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

電子提供制度のご案内等、株式の事務  
手続きについては三菱UFJ信託銀行の  
ウェブサイトをご覧ください。



電子提供制度専用ダイヤル  
電話 0120-696-505  
受付時間/土・日・祝日を除く平日9:00~17:00

## 会社概要 (2023年6月30日現在)

会社名	大塚ホールディングス株式会社 (Otsuka Holdings Co., Ltd.)
設立	2008年7月8日
資本金	816億90百万円
本店	〒101-0048 東京都千代田区神田司町二丁目9番地
東京本部	〒108-8241 東京都港区港南二丁目16番4号 品川グランドセントラルタワー
グループ会社数	子会社 165社、関連会社 27社

## 株主優待について

対象となる株主様	毎年12月31日現在の株主名簿に記録された 100株(1単元)以上の当社株式を保有する株主様
ご優待の内容	3,000円相当の当社グループ製品
ご送付時期	4月中旬から順次ご送付予定

# 大塚ホールディングス株式会社

詳しい内容は、ウェブサイトをご覧ください <https://www.otsuka.com/>

